

国の「地域未来戦略」に対応する熊本県の取組み
地域ごとの産業クラスター形成と、地場産業の付加価値向上等を支援

【国策定】
戦略産業クラスター計画
(熊本県からプロジェクト案を提案)

【熊本県策定(地域産業成長プラン)】
地域産業成長プラン

【A 戦略産業クラスター計画】

熊本県からは、民間の大規模投資を踏まえ、以下の3分野の産業クラスター形成を推進し、必要なインフラ整備に国と連携して取り組むプロジェクトを提案。

<戦略分野(関連民間投資)と主な取組み>

- 1 AI・半導体（先端半導体等への投資）
 - 道路・鉄道等の交通ネットワーク、工業用水、公共下水道の整備
 - くまもとサイエンスパークの整備
 - 熊本県立大学「半導体学部(仮称)」学部棟の新設 等
- 2 造船（次世代船舶建造への投資）
 - 長洲港関連施設の整備 等
- 3 合成生物学・バイオ(製薬関連への投資)
 - 新産業創出のための拠点整備 等

【B 地域産業クラスター計画】

地域の資源・技術を活用し、国内で上位シェアを目指すなど、地域経済への波及効果が期待できる企業を支援。

<分野>

- 1 半導体産業と半導体ユーザー産業
- 2 「食のみやこ熊本県」の創造とライフサイエンス産業
- 3 観光交流関連産業

※ 県が公募により重点支援企業を選定する。重点支援企業に対しては、県が伴走支援を行う他、国(関係省庁)の支援施策での審査上の考慮が行われる。

【C 地場産業成長プラン】

魅力あふれる地域資源について、付加価値向上と地産外商の推進を図る。

※ プランに記載された施策は、国の地域未来交付金の優先採択等の対象となることから、市町村と連携し、県・市町村の関係施策を幅広く位置付ける。